



2022年4月11日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾大学アート・センター主催  
「スタンディング・ポイント III ハンネ・ダルボーフェン」展  
を開催（2022/5/9-6/24）

自立した立脚点をもつ現代作家を紹介し、アートの現代社会における可能性を問いかけるスタンディング・ポイントシリーズを締めくくる第3回は、ドイツの作家ハンネ・ダルボーフェンを取り上げます。彼女の描線は、整えられたフォーマットの内に過去からの重層的な時間を含み、未来へと連なる現在を捉えています。いくつもの歴史的事象に直面している今こそ、ダルボーフェン作品の眩きに耳を傾ける時といえるでしょう。

## 1. 基本情報

会 期：2022年5月9日（月）～6月24日（金）※土日祝休館

開館時間：11：00～18：00

会 場：慶應義塾大学アート・スペース（三田キャンパス南別館 1 階）

入 場：無料（WEB ページより事前予約制を予定）

展覧会ウェブサイト：<http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/hanne-darboven/>

※新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて会期や入場方法など変更になることがございます。

最新情報は上記、展覧会ウェブサイトをご確認ください

主催：慶應義塾大学アート・センター

協力：ヒロセコレクション、かんらん舎

## 2. 展覧会概要

慶應義塾大学アート・センターでは、若い世代が学ぶ大学という場でこそ、現代という同時代を生きる／生きたアーティストたちの作品と出会い、多様な視点に触れる機会を作ることが重要と考え、現代美術展を企画しています。

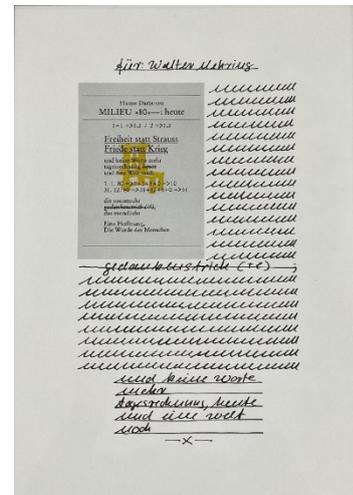
2017年度からの「スタンディング・ポイント」シリーズでは、自立した立脚点をもつ現代作家を紹介し、アートの現代社会における可能性を問いかけて来ました。第1回の寺内曜子（2017年春）、第2回のアナ・メンディエタ（2019年春）に続き、シリーズを締めくくる第3回では、ハンネ・ダルボーフェンを取り上げます。

ドイツの作家ハンネ・ダルボーフェンの作品は整えられたフォーマットの中に重層的な時間をたたえ、遙かに過去や未来を含んだ現在への問いかけを淡々と訴えています。全てが均質化するような時間体験をもたらしたコロナ状態を生き続け、更にロシアによるウクライナ侵攻という歴史的な事件に直面している今こそ、ダルボーフェンの作品の眩きに耳を傾けるべき時であるといえるでしょう。

### 【ハンネ・ダルボーフェン (1941-2009)】

戦後ドイツ美術において、最も重要な作家の1人であり、極めて個性的な存在として知られる。ハンブルクを拠点として活動したが、1960年代後半に2年間滞在したニューヨークで、ソル・ルウィット、カール・アンドレ、ローレンス・ウィナーなどと交流を結んだ。当地で、その後の生涯のプロジェクトとなる時間を空間化し、視覚化することの契機を得る。その作品は「書く」という行為がベースとなり、膨大な量の描線や数字が書記された。その後、音楽も作品の要素となると同時に様々なオブジェクトと記述シートを組み合わせたインタレーションも制作された。そこでは、個人的思い出から、歴史、政治、文学、音楽、建築物など多岐にわたる関心が示されていった。

### 3. 出品作品 (予定)



(提供写真情報)

- 01 Lustig ist das Zigeunerleben [ジプシー生活は楽しい] 1980年  
ヒロセコレクションでの展示風景(2016)
- 02 für Walter Mehring [ワルター・メーリングのために] 1980年 (139シートのうちの1枚)
- 03 für Walter Mehring [ワルター・メーリングのために] 1980年  
ヒロセコレクションでの展示風景(2016)
- 04 für Walter Mehring [ワルター・メーリングのために] 1980年  
ヒロセコレクションでの展示風景(2016)

※実際の展示作品とは異なる場合がございます。ご了承ください。

※関連イベント等については、展覧会ページにてご確認ください。

<http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/hanne-darboven/>

#### 4. 会場案内

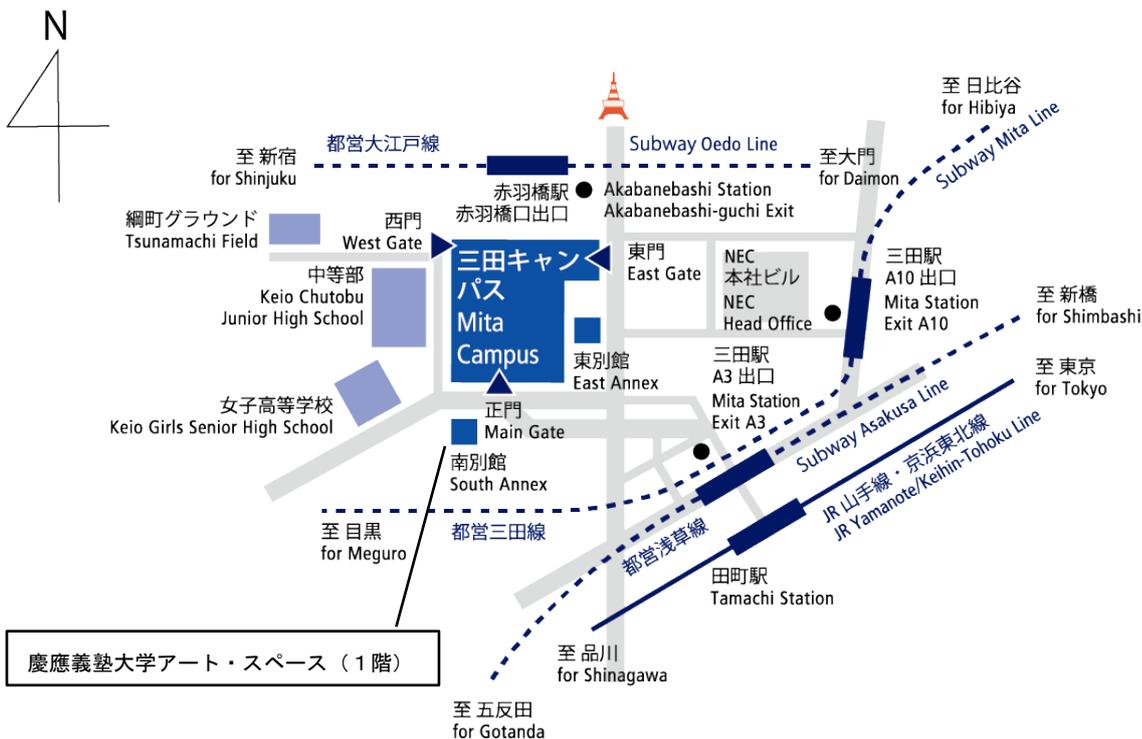
会場：慶應義塾大学アート・スペース（三田キャンパス南別館 1 階）

住所：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

交通アクセス：田町駅（JR 山手線／JR 京浜東北線）徒歩 8 分

三田駅（都営地下鉄浅草線／都営地下鉄三田線）徒歩 7 分

赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩 8 分



※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社教育部、文化部等に送信させていただいております。

#### 【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室（豊田）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

E-mail：m-pr@adst.keio.ac.jp

<https://www.keio.ac.jp/>